

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想<中・外国語>

特別研修員 外国語 菅沼 伸也 (中学校教諭)

単元名 『Lesson 5 Ms. Allen's Family』 (第1学年) 全9時間計画

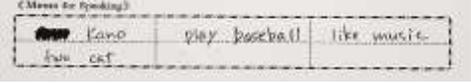
単元のねらい

自分のお気に入りの日本人をALTに紹介し、英語でやり取りをすることができるようにする。

## 単元構想の意図

本単元は、生徒がお気に入りの日本人をALTに紹介し、ALTからの質問に答えるといった「発表」から「やり取り」に向かう統合的な言語活動となるよう構成しました。つかむ過程では、紹介場面の想起として、既習の自己紹介を基に友達紹介の質を高めます。追究する過程では、他者紹介に対して質問ができるような言語活動を繰り返し、やり取りをする力を高めます。まとめる過程では、実際にALTにお気に入りの日本人を紹介するといったオーセンティックな言語活動\*をすることで、何ができるようになったか生徒が自覚できるよう構成しました。

\*英語を使う必要のある実在する相手と、実際の目的をもって行う言語活動

過程	主な学習活動	めあて提示の工夫と主体性の喚起
つかむ(1)	<p>1. クラスメイトの紹介をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の「めあて」をつかむ。</li> <li>○自分の好きな日本人をALTに紹介し、英語でやり取りをしよう。</li> <li>○ペアでお互いに自己紹介をし、問答する。</li> </ul>  <p>&lt;聞こえた情報はキーワードでメモする&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○メモを基に、他の生徒に紹介する。他者紹介</li> <li>○紹介した内容を英文で書く。&lt;次時で修正&gt;</li> </ul>	<p>ALTが日本の有名人について知りたがっていることを生徒に伝え、紹介する必要感をもたせる。自分の好きな日本人を選ばせることで、ALTに英語で紹介することへの意欲を喚起する。</p> <p>流暢さと正確性及び4技能のバランス</p> <p>正確さよりも、相手に伝えることに重点をおき、三単現のs(es)の誤りは、ここでは言及しない。4技能をバランスよく指導するため、紹介した内容を書かせる。</p>
追究する(4)	<p>2. グループ内で紹介文を読み、修正し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ALTに自分のペアを紹介する。他者紹介</li> <li>○三単現のs(es)に気付く。</li> <li>○主に三単現のs(es)の修正をする。</li> </ul> <p>3. ALTの友達紹介をメモを取りながら聞き、質問する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○メモを基に、即時的に質問する。メモから質問</li> <li>&lt;メモに関連する質問&gt;</li> <li>★《メモ: like animals》→ Does he like dogs?</li> </ul> <p>4. 校内の先生を紹介し合い、メモを基に問答する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内の先生紹介をメモを取りながら聞く。</li> <li>○メモを基に、即時的に質問し、それに答える。</li> <li>他者紹介 → メモから質問 → 質問から答え</li> </ul> <p>5. グループでALTに日本人を紹介し、やり取りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで日本人の情報をメモし、紹介する。</li> <li>○ALTや他の生徒の質問に答える。&lt;紹介し、やり取りをする様子&gt;</li> </ul> 	<p>動詞の語尾変化への気付き</p> <p>ALTがリアクションとして繰り返す表現から、三単現のs(es)を聞き取らせ、動詞の変化に気付かせる。他の生徒の紹介文も修正することで、動詞の変化の理解を定着させる。</p> <p>単元のめあて達成に向けた様々な言語活動</p> <p>友達紹介、ALTの友達紹介、校内の先生紹介等を聞き、メモを基に質問する力を高める様々な場面を設定する。帯活動においても、質問表現や会話を継続するための表現を積み重ねておく。</p> <p>教科書の活用</p> <p>教科書の本文は、言語活動のよいモデルとして捉えさせ、単元を通して十分活用させる。</p> <p>中間評価</p> <p>言語活動の途中で、モデルなる生徒の表現を他の生徒に示すことで、生徒一人一人の会話表現の質を高める。めあてに沿っているよい表現を意図的に取り上げる。</p> <p>生徒の「英語発信」への意欲が高まる授業形態</p> <p>グループで協力して紹介や問答をさせることで、生徒同士の教え合いや声掛けが行われ、よりよい発表(紹介)や英語でのやり取りができる場が生まれるようにする。</p>
まとめる(4)	<p>6. 紹介する日本人をより詳しく調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前時に答えられなかった質問について、調べる。</li> <li>○調べた内容等を加えて、紹介できるようにする。</li> </ul> <p>7. グループで選んだ日本人について、より詳しくALTに紹介する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前回に調べた内容を付け加えて紹介する。</li> <li>○ALTや他の生徒からの質問に答える。</li> </ul> <p>8. 自分のお気に入りの日本人をALTに紹介する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○紹介後に、ALTと英語でやり取りをする。</li> <li>&lt;パフォーマンステスト&gt;</li> </ul> <p>9. 紹介した日本人の紹介文を英語で書き、ALTに渡す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人がお気に入りの日本人の紹介文を書く。</li> </ul>	<p>内容を深め、質を高める言語活動</p> <p>前時に伝えられなかった内容や、新たに伝えたい情報がALTに伝わるよう、紹介内容の順番を工夫させる。ALTや他の生徒からの質問に、会話をつなげながら答えさせ、自然リアクションもできるよう支援する。</p> <p>オーセンティックな言語活動、技能の統合</p> <p>単元末にオーセンティックな言語活動を設定することでこれまでの学びを生かさせた充実感、達成感を味わわせ、今後の学習への意欲を高める。発表からやり取りへ技能を統合させる。書く活動にも必然性をもたせる。</p> <p>単元の学びの自覚</p> <p>言語面と内容面で振り返りを行い、何ができるようになったか、新たに気付いたことは何か等を自覚させる。</p>

指導例：『Lesson5 Ms. Allen's Family』（第1学年 第1時）  
『自分のお気に入りの日本人をALTに紹介し、  
英語でやり取りをしよう』

指導のポイント

1 あいさつ・帯活動を行う。

○お互いにキャラクター等を紹介(スリーヒントゲーム)し合い、質問しながら当てる。

S 1 : This is yellow and brown. This is a horse.  
This is from Gunma. Who is this?

S 2 : Is this "Yuru-kyara" ?

S 1 : Yes, it is.

S 2 : "Gunm-chan" ?

S 1 : Yes, that's right.

単元のめあてに迫る帯活動

- 既習表現を使用することで、理解を促す。
- デモンストレーションをすることで、帯活動の流れとメモの取り方を示す。
- お互いに間違いを恐れずやり取りするよう促す。

2 単元のめあてをつかむ。

T : Now, let's play "three-hints-game" with Mary(ALT).

S : This is blue and white. This is a cat.  
This is from future. Who is this?

ALT : Is this .... ? Sorry, I don't know.

T : Mary doesn't know Japanese things well.

Let's introduce Japanese people to Mary.

めあて 自分の好きな日本人をALTに紹介し、英語でやり取りをしよう

単元のめあての設定  
提示の工夫

- 生徒とALTのやり取りを見せることで、単元のめあてを捉えさせる。

3 本時のめあてをつかむ。

めあて これまでに学習した英語表現を使って、パートナーを紹介しよう

○ ALT に日本人を紹介する前段階として、既習表現を用いて友達紹介をすることを教える。

メモの取り方の提示

- キーワードを英語かカタカナ(発音)でメモを取らせることで、メモからすぐに英文が頭に浮かぶようにする。

4 本時の活動に取り組む。

○ペアで自己紹介し、互いに質問することを通して、自分のパートナーの情報を集める。

S 1 : I am Taro.

I am from Maebashi.

I like cats.

⋮

S 2 : Do you like dogs, too?

S 1 : Yes, I do.

⋮

※メモの例(S 2)

Taro / マエバシ / like cats / dogs

○自分のパートナーを、メモを基に他の生徒に紹介する。聞く生徒は、単語や文の「繰り返し」などリアクションを取る。

S 2 : (メモを見ながら、S 1を紹介する。)

This is Taro.

He is from Maebashi.

He like cats and dogs.

⋮

S 3 : Oh, I see.

S 4 : Oh, he like dogs. Me, too.



○紹介で話した英語を英文にする。

S : (クラスメイトの紹介文を英語で書く。)

メモに基づく言語活動

- メモを基に紹介させる。
- 正確さよりも相手に伝えることを大切にさせる。

めあてに沿った中間評価

- He is ~. や She is ~. を使って表現できている生徒を取り上げることで、基本表現の確認をさせる。
- 三単現の"s(es)"に関することは、次時に気付かせるため、ここでは言及しない。

5 本時の学習のまとめをし、学習を振り返る。

○本時の学習において、「できるようになったこと・気が付いたこと」を中心に、振り返りシートに記入する。

S : 既習表現を使って紹介できた。[言語面]

S : メモを基にパートナーを紹介できた。[言語面]

S : クラスメイトの新しい一面を知ることができた。[内容面]

S : 相手に伝わりやすいように紹介できた。[内容面]

S : やり取りを続けるには、リアクションが大切だと気付いた。

[内容面]

振り返りの工夫

- 「できるようになったこと」や「気が付いたこと」を中心に、言語面と内容面で振り返りをさせる。

指導例：『Lesson 5 Ms. Allen's Family』（第1学年 第5時）  
『自分のお気に入りの日本人をALTに紹介し、  
英語でやり取りをしよう』

1 あいさつ・帯活動を行う。

- 教科書の音読練習をする。
- グループ内で、校内の先生方の紹介をする。
- 紹介を聞く側はメモを取り、相手ペアに質問をし、やり取りをする。

2 本時のめあてをつかむ。

J T E : Did you watch TV last night?  
We had a big volleyball game.  
A L T : No, I didn't. I don't have a TV.  
S : Oh, really?  
A L T : Yes, so I don't know any famous Japanese stars.  
J T E : Can you introduce your favorite Japanese star?  
S : OK.

めあて グループで、好きな日本人を ALT に紹介しながら、  
英語でやり取りをしよう  
○既習表現を使って紹介する。

3 本時の活動に取り組む。

- グループで選んだ日本人の情報をメモで書き、これまで学習した紹介のやり方を参考にしながら紹介内容を考える。

※メモの例 comedian / funny / movie producer / many prize

- 各グループで選んだ、お気に入りの日本人を ALT に紹介する。



①This is Beat Takeshi. ②He is a comedian.  
③He is very funny. ④He is a movie producer.  
⑤He has many prizes.

※グループの中で紹介する役割を決める

- ALTからの質問を受けながら、英語でやり取りをする。



How many prizes does he have?

I'm sorry, I don't know.

What Takeshi's movie is famous?

Pardon?

Takeshi's popular movie title?

Oh, I see. Hanabi.

④What animal does he like?

⑤He likes cats.



※他のグループからの質問

J T E : Very good to use "Pardon?" and "I see."  
⇒他のグループの紹介とやり取り・・・

4 本時の学習のまとめをし、学習を振り返る。

- 本時の学習において「できるようになったこと」や「気が付いたこと」を中心に、振り返りシートに記入する。
- S : 紹介が上手くできた。[言語面]
- S : ALTの先生からの質問に答えることができた。[言語面]
- S : やり取りをするときは会話をつなげることが大切だと気付いた。[内容面]
- S : 次回はALTの先生に「ビートたけし」が取った賞の数を伝えたい。[内容面]

本時のめあてに迫る帯活動

- 他者紹介のやり方を想起させるために、教科書を音読させる。
- リアクションや質問で会話を続けるよう促す。

オーセンティックな言語活動

- ALTがテレビを持っていないことを伝えることで、有名な日本人を紹介する必然性を感じさせる。

既習表現の活用

- 小学校の既習表現も含めて活用させることで、定着を促す。

メモの活用

- 原稿でなくメモを基にすることで、即時的な発表になるようにする。

学び合い

- グループで協力させることで、互いに教え合い、紹介内容の質を高めさせる。

ALTと英語で「やり取り」

- 帯活動を想起させることで、やり取りの継続を促す。
- 聞く生徒にもメモを取らせることで、関連する質問をさせる。
- 答えられない質問は、次回調べさせる。

中間評価

- 生徒のよい表現を共有する。

振り返りの工夫

- 「できた」や「分かった」を実感させることで、達成感をもたせる。
- 「できなかった」「分からなかった」を確認させることで、次時の目標をもたせる。
- 発表させ、称賛する。

指導例：『Lesson5 Ms. Allen's Family』（第1学年 第7時）  
『自分のお気に入りの日本人をALTに紹介し、  
英語でやり取りをしよう』

1 あいさつ・帯活動を行う。

- 教科書の音読練習をする。
- グループ内で、自分の選んだ、好きな日本人の紹介をする。
- 紹介を聞く側はメモを取り相手に質問をし、英語でやり取りをする。

2 本時のめあてをつかむ。

- 既習表現を使って紹介する。
- ALTに新たに分かったことを伝える。

めあて グループで、好きな日本人を前回よりも紹介文を増やしてALTに紹介しよう

3 本時の活動 に取り組む。

- 前時でより詳しく調べた内容のメモを基に、グループで選んだ日本人の紹介内容を考え、練習する。

S：（グループの中で紹介する役割を決め、練習する。）

※追加したメモの例 comedian / funny / movie producer / many prize  
10 prizes / cosplays / mischief / 71 / January 18th

- 各グループが選んだお気に入りの日本人を、ALT にさらに詳しく紹介する。

- ALTからの質問を受けながら、英語でやり取りをする

4 本時の学習のまとめをし、学習を振り返る。

- 本時の学習において「できるようになったこと」や「気が付いたこと」を中心に、振り返りシートに記入する。

S：ALTの先生に、紹介内容を付け加えて詳しく紹介することができた。 [内容面]

S：英語で言えない単語（表現）があったので、パフォーマンステストでは言えるようにしたい。 [言語面]

S：前回のALTの先生からの質問に答えることができた。 [内容面]

S：紹介する順番を替えると、伝わりやすいことが分かった。 [内容面]

指導のポイント

本時のめあてに迫る帯活動

- 単元末の活動を意識させることで、帯活動の必要感を感じさせる。
- やり取りには何が大切か考えさせることで、会話の継続を促す。

より詳しく紹介する必然性

- ALTからの質問に、答えられなかった内容や関心のあることなどを調べさせたことで、自信をもって紹介できるようにさせる。

メモの活用

- メモで整理させることで、即時的に発表できるようにさせる。

相手に伝わりやすい構成

- 前回伝えられなかった情報が、ALTに伝わる紹介になるよう工夫させる。
- ALTの興味を引く紹介内容となるよう構成を考えさせる。

学び合い

- グループで教え合わせ、全員が紹介できるようにさせる。

ALTと英語で「やり取り」

- これまでの活動を想起させることで、ALTからの質問に会話をつなげながら答えさせる。
- 聞く生徒にもメモを取らせることで、関連する質問をさせる。

振り返りの工夫

- 単元を通しての「振り返り」をさせる。
- 次時のパフォーマンステストに向けて、目標を設定させる。

# 外国語科学習指導案

平成30年9月～10月 第1学年 指導者 菅沼 伸也

## I 単元名 「Ms. Allen's Family」

## II 学習指導要領上の位置付け

第2章 外国語科の目標及び内容

第2節 英語

1 目標 (3)話すこと [やり取り]

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。

2 内容 (3)エ 話すこと [やり取り]

(ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。

(イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。

## III 目 標

以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。

ア 他者紹介をしながら、ALTとやり取りをする活動を通して、三単現のs(es)の用法を理解し、活用できるようにする。(知識及び技能)

イ 他者紹介をしたり、紹介された人に対して関心のあることを尋ねたりすることができる。また、他者紹介を聞き取ったり読み取ったり、書いたりすることができる。

(思考力、判断力、表現力等)

ウ 他者紹介に意欲的に取り組み、紹介された人に関心をもって、質問を考え、尋ねている。

(学びに向かう力、人間性等)

## IV 指導計画 ※別紙参照

**V 本時の展開 (1/9)**

1 ねらい 相手(パートナー)のことを尋ねる活動を通して、得た情報を基に、そのパートナーを他の生徒に紹介できるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
<p>1 あいさつ・帯活動を行う。(7分)</p> <p>○ペア活動で絵に描かれているキャラクターなどの紹介をさせる。 ○紹介を聞きながらメモを取り、質問をしながら絵のキャラクターを当てさせる。</p>			
<p>2 単元のめあてをつかむ。(1分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 自分の好きな日本人を ALT に紹介し、英語でやり取りをしよう</p> </div>			
<p>3 本時のめあてをつかむ。(2分)</p> <p>○既習表現を使って紹介できるよう助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて これまでに学習した英語表現を使って、パートナーを紹介しよう</p> </div>			
<p>4 本時の活動に取り組む。</p> <p>(1) 自分のパートナーの情報を集める。(10分)</p> <p>○既習表現を使って自己紹介をさせ、その相手から聞き取った情報をメモさせる。 ○相手ペアに分かりやすい表現を使うよう助言する。 ○質問したり、答えたりする際に、「つなぎ言葉」などを使うよう助言する。</p>			
<p>(2) 相手ペアに自分のパートナーを紹介する。(10分)</p> <p>○メモを基に、意欲的にパートナーを紹介できるよう支援する。 ○相手ペアからの紹介に、反応(Oh, really?、Me too.、単語や文の「繰り返し」など)ができるよう助言する。 ○上手く反応ができている生徒を称賛する。</p>			
<p>(3) 紹介で話した英語を、英文にする。(15分)</p> <p>○紹介したときの表現を、そのまま書くよう助言する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>パートナーから情報を聞き取り、既習表現(Be 動詞等)を用いて、意欲的にパートナーを紹介している。&lt;発言 (1)ア&gt;</p> </div>			
<p>5 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)</p> <p>○「相手ペアに自分のパートナーを紹介できたか」問いかける。 ☆既習表現を使ってパートナーの紹介ができた。【言語面】 ☆クラスメイトの新たな一面を知ることができた。【内容面】 ☆メモを基にパートナーを紹介できた。【言語面】</p>			

## V 本時の展開（5／9）

1 ねらい 前時で行った先生紹介を参考に、グループでお気に入りの日本人をALTに紹介する活動を通して、ALTとやり取りができるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 あいさつ・帯活動を行う。（7分）	○教科書の本文を音読させ、他者紹介のやり方を想起させる。 ○グループ内で、3文程度で校内の先生を紹介させる。 ○紹介を聞きながらメモを取り、質問をしながら会話活動をするよう助言する。		
2 本時のめあてをつかむ。（3分）	○既習表現を使って紹介できるよう助言する。		
めあて グループで、好きな日本人を ALT に紹介しながら、英語でやり取りをしよう			
3 本時の活動に取り組む。			
（1）前時で行った紹介の仕方を参考に、お気に入りの日本人の紹介文を考える。（10分）			
○グループで紹介する日本人の情報を出し合い、メモを書かせる。 ○既習表現を使い、書いたメモから紹介文が言えるよう助言する。 ○グループの一人一人が、紹介内容を言えるよう助言する。 ○模範となる紹介ができている生徒を紹介する。			
-----			
（2）各グループが選んだ、お気に入りの日本人を、ALTに紹介する。（25分）			
○既習表現を使って、やり取りができるよう助言する。 ○グループで協力して、ALT とのやり取りが円滑に進められるよう助言する。 ○一つのグループの紹介が終了した後に、他のグループから質問ができるよう支援する。 ○よい紹介や、スムーズなやり取りができているグループ・生徒を称賛する。			
グループで、お気に入りの日本人を ALT に紹介しながら、英語でやり取りをすることができる。＜発言（(1)ア(2)ア）＞			
4 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）			
○「グループで好きな日本人を ALT に紹介することができたか」問いかける。 ☆ 紹介が上手くできた。【言語面】 ☆ ALTの先生からの質問に答えることができた。【言語面】 ☆やり取りをするときは、会話をつなげることが大切だと気付いた。【内容面】			



目標	<p>以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。</p> <p>ア 他者紹介をしながら、ALT とやり取りをする活動を通して、三単現の s(es)の用法を理解し、活用できるようにする。(知識及び技能)</p> <p>イ 他者紹介をしたり、紹介された人に対して関心のあることを尋ねたりすることができる。また、他者紹介を聞き取ったり読み取ったり、書いたりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 他者紹介に意欲的に取り組み、紹介された人に関心をもって、質問を考え、尋ねている。 (学びに向かう力、人間性等)</p>		
評価規準	<p>(1)ア 他者紹介に意欲的に取り組んでいる。 イ 紹介された人に関心をもって、質問を考えたり、尋ねたりしている。</p> <p>(2)ア 他者紹介をしたり、紹介された人に対して関心のあることを尋ねたりすることができる。 イ 他者紹介文を書くことができる。</p> <p>(3) 他者紹介を聞き取ったり、読み取ったりすることができる。</p> <p>(4) 三単現の s(es)の用法を理解している。</p>		
過程	<p>時間</p> <p>○ねらい めあて</p>	<p>☆振り返り (意識)</p>	<p>◇評価項目 〈方法 (観点)〉</p>
つかむ	<p>1</p> <p>《単元のめあて》 ◎自分の好きな日本人を ALT に紹介し、英語でやり取りをしよう。</p> <p>○相手(パートナー)のことを尋ねる活動を通して、得た情報を基に、そのパートナーを他の生徒に紹介できるようにする。</p> <p>これまでに学習した英語表現を使って、パートナーを紹介しよう。</p>	<p>☆既習表現を使って紹介ができた。 ☆クラスメイトの新たな一面を知ることができた。 ☆メモを基にパートナーを紹介できた。</p>	<p>◇パートナーから情報を聞き取り、既習表現(Be 動詞等)を用いて、意欲的にパートナーを紹介している。 &lt;発言 ((1)ア) &gt;</p>
追究する	<p>[帯活動]</p> <p>○グループでクラスメイトや校内の先生を紹介させたり、その人に関する質問をさせたりする帯活動を通して、即時的な英語でのやり取りができるようにする。</p> <p>2</p> <p>○前時で紹介したクラスメイトを ALT に紹介し英語でやり取りをする活動の中で、一般動詞に三単現の s(es)が必要なことに気付かせ、グループ内で修正できるようにする。</p> <p>前時のクラスメイトの紹介文をグループ内で修正しよう。</p> <p>3</p> <p>○ ALT の友達紹介に関する JTE とのやり取りを聞き、簡単なメモを取らせる活動を通して、ALT の友達に関する質問を考えることができるようにする。</p> <p>ALT の友達紹介を聞いて、英語で質問しよう。</p> <p>4</p> <p>○校内の先生方を紹介し合い、聞き取ったメモから質問したり、答えたりする活動を通して、Does ~?を使った疑問文の文型を使うことができるようにする。</p> <p>校内の先生方を紹介し合い、聞き取ったメモから質問したり、答えたりしよう。</p>	<p>☆一般動詞の語尾の s(es)が聞こえた。 ☆一般動詞の語尾に s(es)が付くことに気付いた。 ☆英文の間違いを修正することができた。</p> <p>☆ Does he(she)~?の疑問文の作り方が分かった。 ☆ Does を使った疑問文を書くことができた。</p> <p>☆先生紹介を聞いて、上手くメモを取ることができた。 ☆ Does he(she) ~?の疑問文が言えた。 ☆一般動詞の語尾に s(es)が付けられた。</p>	<p>◇一般動詞の語尾に s(es)が付くことを理解し、紹介文を修正することができる。 &lt;ワークシート (2)イ(4) &gt;</p> <p>◇聞き取ったメモから Does ~?を使った疑問文を考え質問することができる。 &lt;ワークシート・発言 ((1)イ(3)(4)) &gt;</p> <p>◇聞き取ったメモから Does ~?を使って質問することができる。 &lt;ワークシート・発言 (2)ア(3)(4) &gt;</p>

	<p>5 ○前時に行った先生紹介を参考に、グループでお気に入りの日本人を ALT に紹介する活動を通して、英語でやり取りができるようにする。</p> <p>グループで、好きな日本人を ALT に紹介しながら、英語でやり取りをしよう。</p>	<p>☆紹介が上手くできた。 ☆ ALT の先生からの質問に答えることができた。 ☆やり取りをするときは、会話をつなげることが大切だと気付いた。</p>	<p>◇グループで、好きな日本人を ALT に紹介しながら、英語でやり取りをすることができる。 &lt;発言 ((1)ア(2)ア) &gt;</p>
ま と め	<p>6 ○前時の日本人紹介に対する ALT からの質問に答えられるように、パソコン教室などを利用し、その日本人のことを詳しく調べられるようにする。</p> <p>前時で答えられなかった ALT からの質問に次回答えられように、その日本人を詳しく調べ、紹介内容を増やそう。</p>	<p>☆ ALT の質問の答えとなる内容が調べられた。 ☆新しい紹介内容が見つかった。 ☆詳しい紹介が言えそう。</p>	<p>◇ ALT からの質問の答えとなる内容を紹介内容に付け加えることができる。 &lt;ワークシート ((1)ア) &gt;</p>
	<p>7 ○グループで、お気に入りの日本人について前時に調べた事柄を紹介内容に付け加えて、ALT に、さらに詳しく紹介ができるようにする。</p> <p>グループで、好きな日本人を前回よりも紹介文を増やして ALT に紹介しよう。</p>	<p>☆答えられなかった ALT からの質問の答えを紹介内容に付け加えることができた。 ☆英語で言えない単語(表現)があったので、パフォーマンステストでは言えるようにしたい。 ☆紹介する順番を替えると、伝わりやすいことが分かった。</p>	<p>◇グループで、好きな日本人を紹介文を増やして、ALT に紹介することができる。 &lt;発言 ((1)ア(2)ア) &gt;</p>
	<p>8 ○自分のお気に入りの日本人を ALT に紹介する活動を通して、質問したり答えたりしながら、ALT と英語でやり取りができるようにする。</p> <p>ALT に自分の好きな日本人を紹介し、英語でやり取りをしよう。</p> <p>※パフォーマンステスト</p>	<p>☆ ALT からの質問に答えることができた。 ☆相手に聞き返したり、「相づち」や「つながぎ言葉」を使うことができた。 ☆沈黙することなく英語でやり取りができた。</p>	<p>◇既習表現を使用して、好きな日本人を ALT に紹介し、英語でやり取りができる。 &lt;発言 ((1)ア(2)ア) &gt;</p>
	<p>9 ○前時のパフォーマンステストでの紹介と英語でのやり取りを確認しながら、自分のお気に入りの日本人の紹介文を書くことができるようにする。</p> <p>自分の好きな日本人の紹介文を書き、ALT に渡そう。</p>	<p>☆一般動詞の語尾の s(es)に気を付けて、紹介文が書けた。 ☆分かりやすい紹介文に書き直せた。 ☆紹介内容を少しずつ増やすことができた。</p>	<p>◇お気に入りの日本人の紹介文を書くことができる。 &lt;ワークシート ((2)イ) &gt;</p>